

留 学 報 告 書

記入日:2020年5月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University, Long Beach
留学期間	2019年8月～2020年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年5月24日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	36846人 (2018-2019 academic year)
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨 (ドル\$)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学【交換型】のため
宿舍費	6220.50	約67万円	キャンパス内の寮
食費	約4,100.00	約44万円	10食/週のMeal Plan + 外食 etc.
図書費	約870.00	約10万円	教科書
学用品費	約70.00	約1万円	ノート、ペン、テスト用マークシート(Scantron)
携帯・インターネット費	約370.00	約4万円	Yellow Mobile でSIMカード購入
現地交通費	85.00	約1万円	ロングビーチバスのTap Card (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約6,300.00	約67万円	
被服費	約390.00	約5万円	
医療費	0	0円	インフルエンザ予防接種は無料
保険費	約1940.00	約21万円	形態:明大サポート、留学先大学 etc.
渡航旅費	約1960.00	約21万円	
ビザ申請費	約140.00	約2万円	
雑費	約220.00	約3万円	洗濯、洗面用具等
その他		円	
その他		円	
合計	約\$22,665	約246万円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港(HND) 目的地:ロサンゼルス国際空港(LAX) 経由地:なし(直行便)

復路 出発地:(LAX) 目的地:成田国際空港(NRT) 経由地:なし(直行便)

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: _____

料金: _____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:アメリカン航空(American Airlines) 料金:¥152,000

復路 航空会社:ユナイテッド航空(United Airlines) 料金:約¥58,000 ∴合計:約¥210,000

航空券購入方法

 旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:公式サイト又は公式アプリ) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:International House (Hillside College 内)) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数 2 人部屋)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からのメールに従って申し込んだ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮のメリットは、大学に近いので時間を有効的に使えること、友達を作りやすいこと、安全であること。2 人部屋だが、部屋ではお喋りする時があれば、お互い 1 人の時間を楽しむ時もあるので、程よく息抜きもできた。International House は交換留学生のみならず、アメリカ外にルーツを持つ人たち(親が外国生まれの人や中学生の頃に移住してきた人など)が多い。私の場合、最初のルームメイトは半年間の交換留学生で、先に帰国し、新しい子が来るはずが、寮のオフィスが適当でルームメイトが来なかった笑。普通は春学期はルームメイトを選ばず、オフィスが勝手に決める。春学期の入寮日まで何の情報もなく、当日いきなり新しいルームメイトが来る。ちなみに、International House は、部屋の大きさはおそろくどの部屋も同じ。バスルームは 3 部屋で共有のところと、2 部屋で共有のところがあるが、後者には掃除用具入れがあり、朝などに清掃員が入り出すので騒がしいと思う。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

 なし あり(治療を受けた場所: _____)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

 なし あり(問題の内容や相談した人等: _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館や大学からのメールに目を通す。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

International House は部屋によって Wi-Fi の接続具合が異なる。私の部屋はあまり接続できなかったため、共有スペースで接続したりしていた。SIM カードの契約が、毎月 50GB 目安の実質無制限だったので、困ることはなかった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

現地口座開設がお勧め。キャンパス内に Wells Fargo という銀行があり、窓口で口座を作れる。現地口座があると、割り勘の際にアプリ(Zelle, Venmo, Paypal 等)で送金することができ、現金のやり取りの必要がなく、かなりラク。私は初め、現地口座を作らず、日本の銀行口座から引き落せる VISA のデビットカードを使い、現金は ATM からおろしていたが、割り勘の際の現金のやり取りが面倒で、友達にも申し訳ないので、結局アメリカ口座を作った。日本の口座やカードは引き続きメインで使い、割り勘関連のみアメリカ口座を使った。ちなみに、日本口座からの現金の引き出しは、銀行窓口なら手数料なし又は 1 ドル、ATM だと手数料 5 ドル。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

汗拭きシート(必要あれば)、日本の食品は売っているが高いので可能な限りから持参すべき。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 1 学期あたり 12 単位以上 18 単位以下	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Marketing	マーケティングの原理・原則
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2019 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Praveen Soni
授業内容	マーケティングの基礎基本を広く学ぶ授業。
試験・課題など	期末を含めて試験 4 回、レポート 1 回、グループプレゼンテーション 1 回
感想を自由記入	教授がスペイン語訛りでやや聞き取りにくかったが、カリフォルニアはヒスパニックが多いのでリスニングの良い練習になる。試験は 1 回目は論述式だったが、平均点が低かったため、2 回目以降はマーク式に変更になった。いずれにしても難しかった。定義を問うよりも事例を挙げた問題が多かった。グループプレゼンは、教科書の章末にある Case Study に関するもので、5、6 人のグループでスライドを作り約 15 分の発表及び質疑応答。メモを見ながら話す人もいれば、全く何も見ずに発表する人もいる。偶然日本人が一人いたので、かなり助けてもらった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Business	国際ビジネス
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2019 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 165 分が 1 回
担当教授	Robert Chi
授業内容	国際的な商取引に関連して経済的、文化的等さまざまな視点から基礎的な知識を学ぶ授業。条約や組織の名前が多く出てくるので暗記系の授業とも言える。
試験・課題など	期末を含めて試験 3 回、任意で毎週レポート。
感想を自由記入	プレゼンはなく、試験 100%。任意レポートは、私は他の授業の課題等を優先したため、ほぼやらなかった笑。国際ビジネスの中で力のある国の 1 つである日本もよく話題に出るため、アメリカの視点から見た日本やそのビジネスを知れて面白かった。またアメリカ発祥の企業(コストコやディズニーランド等)がどのように日本の文化的背景や経済的状況に対応して進出したのかという話も興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Management and Operations		経営の原理・原則	
科目設置学部・研究科	College of Business		
履修期間	2019 年秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Joonhwan In		
授業内容	企業組織内の仕組みや運営の仕方に関する授業。		
試験・課題など	試験が期末を含めて 3 回、グループプレゼンテーション 1 回		
感想を自由記入	組織内の構造などを学べる授業。韓国出身の教授で、丁寧で進度もちょうど良い授業だった。講義のスライドが分かりやすく、テスト勉強にも便利だった。グループプレゼンは4~6 人で約 20 分間、課された専門的な記事の要約をスライドを使って発表するもの。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business Communications		ビジネス・コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	College of Business		
履修期間	2019 年秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Kierstin Stickney		
授業内容	ビジネスコミュニケーションに関する知識を講義で学び、課題を通じて実際に様々な形態のビジネスコミュニケーション(文章および口頭)を練習する。		
試験・課題など	自己紹介エッセイ、エレベーター・スピーチ、5 分間の個人プレゼン、2 対 2 のディベート、ビジネス英語文法の試験2回、期末試験		
感想を自由記入	途中で教授が変わった。この学期に履修した 4 科目のうち最も課題が多かったが、その分試験の比重が低く、比較的良い成績は取りやすかった。ライティングやスピーキング系の課題は全てビジネスの場面を想定したものであったので、今後に役立つと思う。エレベーター・スピーチでは、約 30 秒間で自分のアルバイト・インターンの経験やスキルを簡潔にアピールした。個人プレゼンでは、各自課されたテーマに沿い、実際の企業を 1 つ挙げ、その重役会議でプレゼンするという設定で、研究結果の分析と改善策を提示した。服装はビジネス・カジュアルと指定されたので、なんとかそれらしい服を選んで臨んだ。このプレゼンと同内容のライティング課題も課された。要約、下書き、友達どうしでの評価、最終提出というように段階を踏みながら行うし、ポイントを押さえればどうにかなる。ディベートでは、型に沿って 1 人 2 つずつ主張を述べ、質疑応答もあり、個人的にはこれが最も大変だったが、メンバーが助けてくれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
What Happens in Vegas...Consumer Behavior and the Casino Gaming Industry	ラスベガスにおける消費者行動とカジノ・ゲーム産業
科目設置学部・研究科	Hospitality Management/ Consumer Affairs
履修期間	2020 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Peter Kreysa
授業内容	ラスベガスのカジノや周辺娯楽業の消費者行動、それを受けたカジノ産業の変化等を学ぶ授業。
試験・課題など	期末を含め試験3回、個人プレゼンテーション1回、3章毎に指定の質問に答えるレポート、ドキュメンタリー動画の感想レポート、オンライン移行後は毎週掲示板への意見投稿と他の生徒の意見に対するコメント
感想を自由記入	他の取りたい授業が取れず最後に履修が決まった授業だったが、非常に興味深い内容を多く知れた。プレゼンはスライド準備は任意で、1~2分で良いので気軽に取り組めた。親切な教授で英語が拙い私のプレゼンも非常に褒めてくれた。試験はオンラインで各自期日までに回答する形式なので、講義スライドを確認しながら解けた。レポートや意見投稿は期日までに内容や文字数の指示に従って提出すれば満点ももらった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advertising and Promotion I	広告と販売促進 I
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2020 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Risto Moisio
授業内容	消費者とのコミュニケーション媒体としてのさまざまな形態の広告方法を学ぶ授業。
試験・課題など	期末を含め試験3回、グループ課題1回
感想を自由記入	試験はマーク式だが応用が多く難しかった。ほぼ毎回の講義で3-4人のグループでディスカッションする時間があった。ゲストスピーカーによる講義は3回あった。グループ課題はCreative Briefを作成するというもの。実在するブランドを1つ選択し、その宣伝に関する現状の課題を書き、それを改善した広告を作成した。5人グループでメンバーは意欲的だったので、役割分担をし何回かzoomで話し合いながら完成させた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organizational Behavior	組織内行動
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2020 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Jonathan Phan
授業内容	企業で働く人の行動やモチベーション、チームワーク等を科学的な理論から学ぶ授業。
試験・課題など	期末を含め試験 3 回、自己紹介レポート、中間レポート、学期末レポート
感想を自由記入	試験はマーク式だが難しかった。授業では毎回ほかの生徒とディスカッションする時間があった。いろんな視点から自由に論議するので有意義な時間だった。レポートは、モチベーションの章で学ぶ目標達成理論を自分に応用し、その目標の詳細と設定理由、経過、達成か否か等を段階的にレポートとして課された。また、ウェブで受けた性格等の自己診断結果から学んだことを書くレポートもあった。留学生に対しても容赦なく厳しく成績をつける教授だが、公正に判断する分、良い評価をもらえると達成感があった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Law and Business Transactions	法律と商取引の導入
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2020 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Terry Ross
授業内容	アメリカのビジネスや商取引に関する法律
試験・課題など	期末含め試験 3 回、グループプレゼンテーション 1 回、IRAC レポート
感想を自由記入	アメリカの司法の仕組みは日本とは全く違うので、馴染みもなく、講義を理解するのが大変だったが、教科書や講義スライドを復習してついていった。疑問点を積極的に質問する生徒が多く、意欲的な雰囲気だった。グループプレゼンは実際の事件を、それぞれの立場から、問われる責任等を法的に分析した。この教授は努力の度合を一番重視するので、最後まで逃げずに頑張ろうと思った。レポートは IRAC の形式を守り、必要事項を盛り込むことで、比較的良い評価がもらえた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	入学
4月～7月	TOEFL ITP、TOEFLiBT 1 回目 50 点(7 月中旬)
8月～9月	
10月～12月	TOEFLiBT 2 回目 71 点、留学希望先決め、留学計画書作り、学内選考、留学先決定
2019年 1月～3月	合格者オリエンテーション、留学先大学からの指示に従い各自で手続き(履修登録など)
4月～7月	寮の申込・ルームメイト決め・部屋決め、ワクチン、渡航前オリエンテーション、海外留学奨励助成金申請、SIM カード注文
8月～9月	荷造り、渡航
10月～12月	授業、次学期の履修相談・登録、Thanksgiving 休み、冬休み
2020年 1月～3月	冬休み、春学期授業開始
4月～7月	期末試験、帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学先でどんな生活が待っているのか全く分からず、家族と長く離れるのは寂しいし、留学が迫るにつれて不安に思うことがたくさんあると思いますが、全てなんとかなります笑 アメリカに来てからは、来る前の不安が解消され、その分次々と新たな心配事も出てきますが、頑張りすぎずに、でもちょっと勇気を出して頑張ってみようくらいの気持ちで前に進めたら十分だと思います。)

英語学習として洋楽や洋画に触れるべきとよく聞きますが、留学前は興味がなくて続かず、結局あまり触れていませんでした。しかしアメリカに来てしばらくしてから、英語の音楽や映画に触れる機会が増え、自然と興味を持ちました。留学生生活を送りながら自分のモチベーションに任せて楽しく学んでいけば良いと思います。英語力に関しても、留学前は自信がなくて間違えたり上手く伝わらないことを恐れていましたが、留学生を送るうちに、英語が母国語でないことは発音や文から結局バレるし、現地の友達も私が言いたいことを理解しようと耳を傾けてくれるし、伝わって会話ができるとこんなに楽しいんだと思えるようになり、モチベーションが上がりました。

留学の理由としては、小学生の頃に漠然と北米への留学に憧れを抱いたことがきっかけです。それ以来ずっと留学が夢でした。アメリカを選んだのは、アメリカ英語を話せるようになりたかったのが一つの理由です。また、学内選考に向けて具体的な理由を考えた時に、プロスポーツビジネスに興味があるので、様々なプロスポーツが盛んであり且つ世界のビジネスの中心であるアメリカで学びたいと思うようになりました。留学を目指したことを契機に、自分の将来やりたいことが少し見えてきたのもよかったです。しかし、交換留学できるアメリカの大学は多いので、アメリカなら正直どこでもいいと思っていた私は、大学決めに困りましたが、先輩の留学報告書を読んだりして決めました。実際には地理的な理由で大学を絞ってから各大学について調べました。最終的にロングビーチが最高の選択だったと思います。カリフォルニア州はヒスパニックやアジア系の人と比較的多く、多様性に富んでいるため差別も少なく、また、乾燥していて冬が日本ほど寒くないので生活しやすく勉強にも集中しやすい環境です。ロサンゼルスも近いので週末に遊びに行っているような体験ができます。

留学前は、夢だった留学だから諦めたくないという気持ちと、やはり実際は面倒で大変そうだからやめようかなという気持ちとで葛藤したこともありましたが、でも、結果的に投げ出さずに留学にチャレンジできて本当に良かったと思います。将来のキャリアに関して興味の幅が広がり、選択肢も増えると思いますし、何より、かけがえのない経験と自信になると思います！ぜひ勇気を出して留学に挑戦してみてくださいね！

